

平成29年度 第5回嘉麻市公民館運営審議会

1. 開催日時 平成29年11月17日(金) 14:00～15:35
2. 開催場所 嘉麻市嘉徳生涯学習センター 大研修室
3. 公開又は非公開の別 公開
4. 傍聴人数 0人
5. 出席者

【審議会委員】

	岡 幸江	○	大田 守	○	大山 征男	○	木下 侑則	○	川原田寿史
	大木 秀一	○	櫛 ひろ子	○	手島 静恵	○	森田 信代	○	赤間 秀人

【オブザーバー】

筑豊教育事務所	上野 修司
---------	-------

【事務局（教育委員会）】

	教育長	木本 寛昭	○	生涯学習課長	長岡 和広
○	生涯学習課長補佐	田原 薫	○	中央公民館係長	山本 賢治
○	中央公民館係	末永 美津子	○	中央公民館係	春口 やよい
○	嘉徳地区公民館長	田中 隆	○	山田地区公民館長	松岡 一彦
○	碓井地区公民館長	福田 勇	○	稲築地区公民館長	宇佐波 吉徳

6. 議題

(1) 市民説明会の補足資料について

①公民館の将来像についての説明会【補足資料】・・・資料を基に説明

○10月27日～11月2日の間で4地区にて市民説明会を開催。

参加者数は、10月27日(金)「夢サイトかほ」 28名

10月31日(火)「山田市民センター」30名

11月 1日(水)「碓井住民センター」19名

11月 2日(木)「稲築地区公民館」17名

合計 94名の参加があった。

○分館長・自治公民館長会議にて、市民説明会の資料に沿って説明したところ、「自治公民館と分館の違いについてもっと分かりやすく説明して欲しい。」「言葉での説明が多すぎて内容が分かりにくい。」とご指摘が多かったため、市民説明会の補足資料として配布。

②公民館の課題、役割と対象区域について(案)・・・資料を基に説明

○市民説明会では、山田地区と嘉徳地区の分館事業を行っている様子をパワーポイントで説明し、A3の資料でそれぞれの公民館の課題と役割、対象について記載した資料を配布。

【意見及び質疑応答】

○「公民館の課題、役割と対象区域について(案)」分館の公民館の役割と対象区域の9行目「山田地区、嘉徳地区では～必要に応じて見直すこととします。」と書かれているが、小学校区がどこまでの範囲かわからない。

⇒最終的に分館の適正区域は、小学校区が適正ではないかと考えており、小学校区を入れさせていただいている。

○小学校区が広域な事は良いのか悪いのかよくわからない。

⇒最終的には小学校区に分館を1つと考えているが、嘉穂と山田に関しては、現状としてそれぞれの分館が地域に根付き、活動が活発に行われているので、現状のままで行きたい。また、状況に応じて見直しが必要となれば、見直しを行っていきたいと考えている。

○広域という事は問題視されていないのか。

⇒広域であるがために小学校区にするというのが難しい旨を記載している。特に嘉穂小学校は、千手と宮野が合併しており、広域になっている。

○旧校区ということか。

⇒旧小学校区。中学校区にすると、1つになるがあまりにも広域になり過ぎることと、それぞれの活動が地域に密着している事を記載している。

(2) 点検評価報告書について

①【資料1】点検・評価報告書(平成28年度事業分)・・・資料を基に説明

○教育委員会点検評価概要

・点検・評価の導入の目的、対象、方法、結果の取扱い、嘉麻市教育行政の基本理念、嘉麻市教育振興基本計画、事業別評価結果について説明。

・以下の4事業について、平成28年度の課題と取り組み、事務局自己評価、今後の方向性、評価委員の意見、教育委員会評価について報告。

[47] 公民館・分館等の連携強化推進事業

[48] 分館及び自治公民館等活動費補助事業

[49] コミュニティ活動支援事業(生涯学習課：中央公民館係)

[50] 公民館事業(生涯学習課：中央公民館係)

【意見及び質疑応答】

○61ページ[49] コミュニティ活動支援事業で、ときめき学習が新たに稲築、碓井でも実施できたとあるが、この内訳と予算が4万9千円で決算が1万2千円となっており、この事業は予算に対し決算が少なすぎるのではないのか。

⇒予算については、講師謝礼等も含めており、実際には講師謝礼を使わず、地域のボランティアの方々が子ども達に色々体験活動をさせてもらっている状況である。そのため、予算額と決算額が標記の金額で済んでいる。

○参加人数、回数は。

⇒平成28年度の参加人数、回数については今手元に資料がないためわからない。

○今年から稲築、碓井がときめき学習を始めたのか。

⇒稲築、碓井は昨年から行っており、今年からは山田が始めた。

○大隈分館では、ふるさと探検隊や沢登りなど、色々な形で多くの事業が行われているが、その中で嘉麻市全体の決算が1万2千円は少なすぎるのではないのか。

⇒この決算額には各分館の予算が入っておらず、実際の予算は各分館が出している。そのため、中央公民館としては標記の決算額しか出していない。嘉穂地区については、分館と共催で事業を行っており、分館で行っている事業を広めている。稲築、碓井については、まだ定着していないため地区公民館がメインで活動を行っている状況。

○参加費を徴収しているのか。

⇒嘉穂地区の場合は、参加費100円で指導者は全員ボランティアである。

決算額のうち、消耗品については、事業を細分化しているため、決算額に含ま

れていない。

本来、アクションプランの事業名と予算事業をある程度統一しておく必要があったが、この整備が出来てないまま第3次アクションプランに移行してしまった。その中で、金額の区分けが分からない部分は、はっきりと数字としてあがっていなかったため、分かっている部分で記載している。

○今までの運営審議会は、分館のあり方を審議してきた。これが本来の運営審議会の業務や内容であると思う。前段で4回、公民館のあり方等を審議してきたので、ここで原点に戻ったと思う。点検評価について、自分達の認識不足の面もあるが、この資料をもとに第三者の評価委員の評価を受けて、報告書となることも知らなかった。公民館運営審議会として、どう関わるのか分からない。点検評価委員会の結果の報告を受けて、審議会の業務としてはどうしたら良いのか。

⇒この点検評価に関しては、既に終わった事業を評価しており、実際はそれぞれ個別で審議は行っていない。公民館運営審議会、社会教育委員や文化財の委員などそれぞれの審議会から代表して委員に出てもらい、嘉麻市の教育委員会の全体事業を、どういう評価にするかを点検評価委員会で審議している。公民館運営審議会の中で、次年度事業計画案と前年度実施事業の経過報告を纏めた事業総括を提案している。最終的に事業の結果を委員の方たちに評価していただき、纏めたものを点検評価委員会に提出している。

○点検・評価報告は事業内容の報告があり、第三者からの評価を受けたという報告を受ければいいのか。

⇒点検・評価に関しては、公民館運営審議会からも代表として1名出ているので、このような形になっている。

○61、62ページに関して、中央公民館の28年度事業の成果、主催講座のことか。

⇒中央公民館のみならず、地区公民館も含めてる。

○62ページを見ても、公民館の講座内容は貧弱と思う。この2年間勉強をしたが、この内容ではいけないと思う。公民館の計画を作るという部分は分かった。評価について、評価はBではなく、Cぐらいが良い。来年度の課題としてその講座の充実を図る事が必要だと思う。公民館活動として市全体に講座を設けていくのが大事だと思う。

⇒講座に関しては、予算を確保しないとイケない。元々合併当初は予算があったが、教育委員会分室で学校教育の受付事務を行いながら、公民館事業も併せて行っていたという状況だったため、合併してから何年間か事業がほぼ出来ない状況が続いていた。事業が出来なかったため予算だけが削られ、事業が行える予算が殆どない現状となっている。

現在は、4地区公民館に館長が配置されており、それぞれの公民館で行いたい事業について館長からも意見が出ており、来年度に関しては基本計画を立て、予算を確保できるよう市長部局にお願いする方向で検討している。しかし、予算が多く削減されている現状があるため、すぐに増額にはならないと思うが、出来るだけ、予算確保を出来るよう頑張っていきたいと思う。

○9ページの学校設備の推進で[17]大隈城山校の維持管理がA評価となっている。ここは冷暖房の設備がついていない。また1クラスで3つの学級しかない。城山校の大人数の子たちがボランティアに来てくれており、「小学校とかはクーラーが入っていいな」と言われていた。それなのにA評価で出ており、A評価ではない

のではないかと思います。その事を皆さんに知っていただきたい。

○点検評価結果報告は報告して終わりだと思ったが、ここについて質問や意見は言うべきだと思い、その部分を確認させてもらいたかった。点検評価の内容は点検評価委員会の中で、論点は整理されるのだと思っていた。その結果の報告を受けて、審議会としてどういう立場で捉えたら良いのか分からない。

⇒点検・評価について、結果の中身について詳しい説明を求める事は出来ると思う。しかし、評価の出ているものに関して、その評価を覆すことはできない。年度末の事業総括の中で詳細な事業内容を示し、評価を付けることとなっているので、その時に委員の方たちに意見を出していただきたい。特に公民館に関する意見に関しては、課題が出来ていないならばC評価としていただき、その評価をいただいたものを取り纏める。アクションプランの点検・評価であげる時は、いくつかの事業が集まった上で1つの事業としてあげているので、その中でB評価、A評価とされたものを評価項目のAまたはBであげるという形にしている。これはまた最後の公民館運営審議会の中で29年度の事業の中身について、委員の方たちに審議していただこうと考えており、その時に意見をいただきたい。

○予算要求について、教育委員会だけではなく、公民館運営審議会が団体交渉という形で一緒に市へ要望したら効果があるのではないか。市民が議員に申し出る方がいいのではないか。公民館運営審議会の委員が議会に対し、予算要求したらどうか。

○予算の要求については、本来の審議会の内容としては違うのではないか。ただ、事業が出来ないのが予算面であれば、なぜ出来ないのか、事業の必要性を議論するのが本来の審議会だと思う。この審議会で、予算を増額要求することはどうかと思う。

○予算がかかる事業については、検討が必要だと思う。全体の事業を見直しており、公民館全体の予算をどうしていくのか、事業や行事に重点を置いた予算配分になるような形にしていく方向である。

○何をやるにしても、お金がないから出来ない。

⇒基本計画に基づき事業の見直しを行い、今後の予算査定の中や審議会でも意見が出ているため、この分について委員の方たちからもこういう事業が出来るように要望が出ている旨を伝えていきたい。

○事業の必要性があり、予算が必要であれば、事務局の方で予算の話をしていくとの事で理解する。

(3) 第4次教育アクションプランについて

①【資料3】第4次教育アクションプラン概要(案)(抜粋)・・・資料を基に説明

○第4次嘉麻市教育アクションプラン事業シートの記入方法等の説明。

【意見及び質疑応答】

○2枚目の事業シート「事業内容・細事業」について、地区公民館、自治公民館、公立公民館推進事業で、中央公民館については別に出ているのか。

⇒公立公民館については、中央公民館も含まれている。

○事業の開催の時に、中央公民館が入っていないのか入っていないのか、それとも含まれているのか。中央公民館と連携するという事か。

⇒中央公民館と連携する。

(4) 平成29年度事業計画中間報告について

①【資料2】平成29年度 事業経過報告・・・資料を基に説明

○平成29年4月1日から10月31日までの中央公民館、地区公民館、分館が行った事業、開催日、参加者数について報告。

【意見及び質疑応答】

○左の方に中央公民館、地区公民館と記載されているが、この事業はそこそこの事業費でやっているのか。例えば、稲築地区に公民館補助金が出ているが、その中で行った事業なのか、それとも中央公民館の予算を組み、その地区でやっているのかが分からない。

⇒共催事業に関しては、市の予算だけではない。分館だけではなく、社会教育関係団体等と協力をして事業を行っている。中央公民館、山田、稲築、碓井、嘉穂地区公民館の単独事業に関しては、市の予算で実施している。

○例えば稲築地区公民館が盆踊りの練習をしているが、それは中央公民館の予算を使っているのか。それとも地区公民館に補助金を出しており、その一環でしている事業なのか。

⇒地区公民館に補助金を出していない。地区公民館は、職員の人件費、施設の維持管理、事業するための消耗品等を市の予算の中で賄っている。分館、自治公民館には補助金を交付しており、その補助金で活動を行っている。共催事業に関しては、地区公民館と分館とでお互いに費用を負担し、事業を行っている。

○稲築地区公民館で行っている、お手玉体験やそば打ち体験の講師はどうされているのか。

⇒ときめき学習のお手玉体験、そば打ち体験の講師の方は、地域の方々にボランティアでご協力いただいている。

○グループで来ていただいているのか。

⇒そば打ち体験の講師の方は、嘉穂地区の方にご協力いただいている。

○盆踊り講習会などの先生はどうしているのか。

⇒稲築の場合は、毎年持ち回りで踊りの先生が交代でされている。

○地区公民館の事業が4地区で違うが、山田なら4つの分館があり、要請があれば協議し地区公民館と一緒に出来るのか。

⇒来年度の計画になると思うが、一緒に事業が出来るのがあれば実施したい。

⇒山田地区に関しては、これまで分館の事業は全て分館で行うようお願いしている状況だった。嘉穂地区の場合は、嘉穂地区公民館の地域活動指導員が分館活動に協力している体制がある。山田地区も全て分館に任せるのではなく、地域活動指導員が分館活動の支援等を行っていきたいと考えている。今後、稲築、碓井にも分館が出来た際には、地域活動指導員が事業活動の支援に入り、一緒に他の関係機関と協力しながら事業を実施する体制を作ろうと考えている。山田地区の分館事業について、何か要請があり協力できる場合は協力していく形にしたいと思っている。また、今後、地区公民館で行って欲しい事業で、講師が必要な場合、予算的な面も含め話が出てくれば検討していく。

○地区の盆踊り講習会は分かっているが、夏休みときめき学習については知らなかった。碓井地区公民館が行っている事業なのか。私でも協力することができるのか。

⇒碓井地区の夏休みときめき学習は、碓井地区公民館が中心となって行っている。また、稲築志耕館高校の学生方にもお手伝いいただいている。

○碓井の通学合宿時だが、もう少し地域の方に呼びかけないといけないと思う。今は地域の人じゃない方をお願いしており、地域の方がお手伝いしないと意味がないと思う。それは、宣伝が行き届いていないのではないか。

⇒通学合宿は、社会教育系の事業になる。ボランティアの方に公民館事業にご協力いただきたい事業が多くあり、募集方法の呼びかけを考えていく。

○他の地域の人と交流することにより、お互い知り合うことで、初めて注意して聞いてくれる。やはり、地域の協力者が必要。

○地元の方に声かけするとそれをきっかけに出てきてくれるかもしれない。

○社会教育係を通じて地域の方の参加をお願いすることで、より効果的になると思う。

⇒ときめき学習で必要としているのは学習ボランティアである。ときめき学習は、1時間勉強した後に2時間の体験学習をするのが基本的な形で行っている。勉強を見ていただけるボランティアがおらず、大隈城山校や稲築志耕館の学生ボランティアに来ていただいている。学習ボランティアにご協力いただけるようお願いしたい。

○他の見学もいいが、自分たちの所の事業も審議委員も見学に行かないとわからないと思う。

○公民館のあり方について、2～3の分館が一緒に行う事業は、地区公民館事業とし、2～3の地区公民館が一緒に行う事業は、中央公民館事業とする言葉の定義を決める必要があるのではないか。地区公民館事業に4名参加となっており、地区公民館規模ではないのが分かる。正直、山田では分館を主に考えており、地区公民館事業は殆どしていない。分館活動が充実しており、参加者も多い。分館で柔軟に対応できない場合は、2～3の分館が一緒になり地区公民館事業であることを考えたらどうか。

○ほとんど主でしているのは、地区公民館じゃない。分館の事業であって、共催というだけである。

⇒嘉穂地区の場合は、ほとんどが分館事業で地区公民館は共催となっている。

○ふるさと探検隊は、バスを出すだけで、ほとんど自分たちでしている。

○ある程度、事業詳細があるといいと思う。

(5) 平成30年度事業計画について

①【資料4】平成30年度嘉麻市教育委員会生涯学習課事業計画(案)

・・・資料を基に説明

【意見及び質疑応答】

○1ページの2番の「具体的な事業内容」の「稲築地区公民館施設整備事業計画の基本構想を策定する。」とあり、30年度からされると思うが、教育委員会、生涯学習課の計画としては、いつ頃建設する計画とされているか。

⇒稲築地区公民館の施設については、30年度から取り組みたいと考えている。

32年度建設の予定で過疎計画に計上させている状況であり、それに間に合うように進めようと考えている。施設関係の検討委員会を立ち上げ、組織関係の条例等が出来てからの話になるため、出来るだけ早く取り組み、30年度には着手できるように進めている。

○アクションプランと関連するが、公民館基本計画の策定と施設整備の見直しをしており、大きな施設になった際、建設検討委員会の設置が必要と思われる。全体の見直しを行うための公民館運営審議会の開催が30年から年3回になり、中身をチェックするくらいで内容検討が出来るのかと疑問に思う。アクションプランの6番で全市的な事業での3つの説明は理解できたが、ほとんど行事という内容だった。

公民館に興味を持ち、ボランティアで色んな活動をしていく人と、市の講座で公民館の勉強をしてから入っていく人がいる。最終的には、地域住民が主体となる公民館活動が狙いなので、公民館活動をするためには、行事だけではなくしっかりと講座をしていくことも必要である。視察に行った時、「公民館はこういうものなのか」、「こんな事も出来るのか」と地域住民が地域の役に立ちたいと思うような講座を活発にしていくことの必要性を感じた。市内では講座が出来ている所、出来ていない所、なかなか参加できない所もある。4つの地区が合併したから、格差が無いように全体と一緒に盛り上げていくようにするのが中央公民館だと感じた。地区の色々な行事を積極的に実施するというだけではなく、市が率先して、4つの地区に格差なく色々な人材育成をする講座を実施するべきである。そういう人材育成の講座で少しでも興味を持ってもらえるようお願いしたい。例えば、社会福祉協議会が行っている、後見人講座など良い講座だと思う。将来的に年配の方が増え、講座に興味を持たれても参加できない場合があるかもしれないので、その点を何とかして欲しい。

○視察に行った時に感じたのが、ボランティア精神のある方が集まり運営していた。嘉麻市にはボランティア精神はあるが、それをどう活かしていくのか、また行事をやっていることを実際知らない方もいる。アクションプランを見ても、また同じようになるのではないかと思う。ボランティア講座をし、ボランティアで関わっていただけのきっかけを作る事や、地域の人材を活かせる講座をし、少しずつ参加者や理解者を増やして人を集めれば、盛り上がるのではないかと思う。そうすれば人や計画が活かしていくのではないかと思う。

○嘉麻市探検講座というような、嘉麻市をまず知る所から始めても良いと思う。

○視察に行った時、色々な人や団体が関わっており、その一部だけではなく多くの人が関わっている印象を受けて素晴らしいと思う。

⇒市民説明会でも、事業について何があるのか分からないとの意見が出ていた。全国には公民館活動をして表彰されている公民館も実際にある。表彰された公民館に視察に行ければいいが、今から計画を立てるのは難しい。嘉麻市でもやれる事業があれば提案をお願いしたい。次回の公民館運営審議会では、基本計画の中に事業内容について入れていくことを検討している。委員の方にも嘉麻市探検講座というものをしたらどうかという意見をいただいた。委員の提案される事業があれば、次の機会に検討したい。実際に嘉穂地区では色々な講座を行っているが、他の地区では行っていない。嘉穂地区で行っている事業で、他の地域で行える良い事業については、他の地域にも広げていく。例えば、ときめき学習を嘉麻市全体に広げていくこととしている。次の会議の時に意見があれば事業計画に入れるのか、実施できるのかを検討していただきたい。また、ボランティアや協力者がいないと出来ない事業もあり、その事前準備が必要となってくる。事業によっては2、3年かけて行うものもあり、全てが30年、31年から出来るとは言えない。しかし、そのためにはどういう講座を行うかという事も含め、市として検討していく時期だと思う。計画の中に具体的な名前の掲載は難しいが、どんな事業かを明記できれば記載していこうと考えている。事業の方向性を計画の中に記載することが出来れば入れていく。

○事業の方向性を示すことは、嘉麻市全体の事業には必要だと思う。声が上がってくるような事業活動をしなさいといけない。地元だけで計画すると考え方が偏るので、全体でする方がいい。

⇒現在、地区公民館に館長、地域活動指導員が配置されている。地区公民館と分館が協力しながら、それぞれの地域の特徴を活かした活動を行っている。その地区だけでなく他の地域でも行えたらと考えている。少し広い地域や市全体で行うなど地区公民館と分館が連携を取りながら事業を行い、地区公民館と中央公民館がしっかりと連携を取っていく仕組みを作っていないと難しいと考えており、今後整備をしていく。すべての地区で事業が出来る体制へと計画を立てていく。

(6) その他

1) 今後の会議及び研修会等について

平成 29 年 11 月 28 日 (火) 「第 6 回公民館運営審議会」 (夢サイトかほ)

平成 29 年 12 月 18 日 (月) 「筑豊地区公民館職員研修会」 (香春町町民センター)

平成 29 年 12 月 21 日 (木) 「嘉麻市公民館職員等研修会」 (夢サイトかほ)

○嘉麻市内の分館が行っている事業について研修会を行う。実践発表で山田地区大橋分館と嘉穂地区大隈分館に発表していただく。

平成 30 年 2 月 9 日 (金) 「福岡県公民館実践交流会」 (コスモスコモン)

7. 配布資料

- ・公民館の将来像についての説明会【補足資料】
- ・公民館の課題、役割と対象区域について(案)
- ・【資料 1】嘉麻市教育委員会 点検・評価報告書(平成 28 年度事業分)(抜粋)
- ・【資料 2】平成 29 年度事業経過報告(平成 29 年 4 月 1 日～10 月 31 日)
- ・【資料 3】第 4 次教育アクションプラン概要(案)(抜粋)
- ・【資料 4】平成 30 年度嘉麻市教育委員会生涯学習課事業計画(案)

上記のとおり相違ないことを確認する

平成 30 年 3 月 30 日

会議録確認者氏名 大田 守